

PHJ メールニュース 2011 年 6 月号

送信日時： 2011 年 6 月 22 日



ピープルズ・ホープ・ジャパン (PHJ) メールニュース読者の皆様

あじさいの花が美しい季節となりました。皆様お元気ですか？PHJ メールニュース 2011 年 6 月号を配信いたします。

このメールニュースは配信を希望するとの連絡を送っていただいた方々、PHJ 運営委員（オブザーバーとして出席されている方を含む）の方々、およびPHJを支援してくださっている方々にお送りしています。

---

#### PHJ メールニュース 6 月号目次

##### 1. PHJ 本部のニュース

- 1-1. 「東日本大震災」支援—全日本病院協会への第一回寄贈
- 1-2. 「東日本大震災」支援の「指定寄付金認定NPO法人」第1号に認定された効果
- 1-3. 「東日本大震災」支援—寄贈PCの設定作業をボランティアでしていただきました
- 1-4. NPO 法改正、新寄付税の改正
- 1-5. 欧州ビジネス協会からのご支援
- 1-6. スタッフブログ

##### 2. PHJ タイ事務所のニュース

- 2-1. HOPE パートナー事業
- 2-2. 子宮頸がん、乳がん予防教育

##### 3. PHJ インドネシア事務所のニュース

- 3-1. 保健改善、母子健康改善活動 — テイルタヤサ自治区
- 3-2. 栄養改善活動 — テイルタヤサ自治区
- 3-3. 助産師のチームワーク

##### 4. PHJ カンボジア事務所のニュース

- 4-1. 保健センター運営向上、村とのネットワーク向上 - コンポントム州
  - 4-2. 母子保健、助産師トレーニング — プレイベン州
  - 4-3. 「安全なお産」、あと 170 人分の支援を
-

## 1. PHJ 本部のニュース

### 1-1. 「東日本大震災」支援 -全日本病院協会への第一回寄贈

3月11日に発生した東日本大震災について、PHJでは震災直後から被災地で医療活動を行っている全日本病院協会（全日病）と提携して被災者の救援のための募金活動を行っています。これまでに個人、団体から多額の寄付を頂きました。

6月4日に開催された全日病の定期総会でPHJ 甲谷理事長から全日病 西澤会長へ第一回の支援金 1500万円、IT支援として 日本ヒューレット・パカード社から寄贈されたパソコン300台、プリンター100台、アパレルメーカーから寄贈された衣料一式の目録をお渡ししました。

今後は被災地の会員病院の復興にむけての支援を続ける予定です。PHJの支援活動はブログに掲載しております。ご覧ください。[http://blog.livedoor.jp/ph\\_japan-saigai/](http://blog.livedoor.jp/ph_japan-saigai/)

### 1-2. 「東日本大震災」支援の「指定寄付金認定NPO法人」第1号に認定された効果

5月のメールニュースでお知らせしましたが、4月27日に成立した震災特別税制のもとPHJは5月9日付東京国税局長より「指定寄付金」認定団体第1号に指定されました。国税庁のホームページにこの制度と認定団体について掲載されています。

<http://www.nta.go.jp/sonota/sonota/osirase/data/h23/jishin/gienkin/npo/ippan.htm>

[http://www.nta.go.jp/sonota/sonota/osirase/data/h23/jishin/gienkin/npo/npo\\_kifukin.htm](http://www.nta.go.jp/sonota/sonota/osirase/data/h23/jishin/gienkin/npo/npo_kifukin.htm)

この税制優遇に関心のある個人や法人からPHJへ相次いで問い合わせとご寄付を頂きました。

### 1-3. 「東日本大震災」支援—寄贈PCの設定作業をボランティアでしていただきました

PHJは日本ヒューレット・パカード社様（日本HP）からPC300台（ノートPC280台、タブレットPC20台）とプリンター100台を寄贈していただき、被災地の診療施設の復興支援を行います。5月28日（土）と6月18日（土）日本HPの社員延べ30名と横河電機社員延べ4名がボランティアでノートPCのソフト設定をして下さいました。休日を被災地の支援のために提供して下さいました皆様に心から感謝いたします。これらのPCとプリンターは6月中に被災地の全日病会員病院に発送されます。

<http://www.ph-japan.org/news/detail.php?q=news4d91a9609a5db>

### 1-4. NPO法改正、新寄付税の成立

寄付優遇税制を適用できるNPO法人を大幅に増やすNPO法改正案が6月15日国会で成立しました。またNPO法人へ寄付した人への税制面での優遇を拡大する、11年度

税制改正法案も今国会で成立する見通しとなりました。

#### 1-5. 欧州ビジネス協会 (EBC) からのご支援

(1) Eurobiz Japan で PHJ と全日病の東日本大震災支援が取り上げられました  
日本で事業を行っている欧州企業の団体、欧州ビジネス協会 (EBC) の英文月刊誌 eurobiz JAPAN 6月号で Donations doing good in Tohoku – The work of PH-Japan and the All Japan Hospital Association の記事で PHJ が支援している全日本病院協会 (全日病) が派遣している医療救護班の活動、PHJ が届けたマフラー、毛布、生理ナプキン、文房具などとともに、被災された全日病会員病院の復興のための IT サポートとして、PC、リンターの寄贈について掲載されました。

英文 <http://www.eurobiz.jp/content/2011/june/features/tohoku>

#### (2) EBC からのご寄付

EBC は、東日本大震災の支援活動として、被災地で支援活動を行っている団体に寄付したいと EBC 会員に募金を呼びかけ、全日本病院協会と提携して医療支援活動を行っている PHJ を寄付先を選んでくださいました。6月16日 EBC の理事会で EBC 会長から PHJ 副理事長へ募金の寄贈状が手渡されました。

<http://www.ebc-jp.com/index.php/component/content/article/1080>

#### 1-6. スタッフブログ

[http://blog.livedoor.jp/ph\\_japan/](http://blog.livedoor.jp/ph_japan/)

\*\*\*\*\*

### 2. PHJ タイ事務所のニュース

#### 2-1. HOPE パートナー教育事業

1998 年以来累計 202 名の患者、卒業生 118 名を支援してきました。現在は 63 名のドナーが 67 名の患者を支援しています。6 月には 18 才を超えた患者 7 名が卒業予定です。5 月にはサンパトン病院、チェンライ病院、サンサイ病院、ラジャナガリンドラ子供発達支援センターで定例活動を実施しました。36 家族が参加し、「ストレス対策としての音楽療法」をテーマに学習しました。両親が仕事のために参加できない家族が多く、参加率は 53% でした。また 11 名の患者の家庭訪問を実施しました。ラーニングセンターの利用者は 50 名でした。[http://www.ph-japan.org/program/Thailand/hope\\_partner.html](http://www.ph-japan.org/program/Thailand/hope_partner.html)

#### 2-2. 子宮頸がん、乳がん予防教育

5 月にはサラピー郡、サンカンペン郡内の病院で検診を 10 回実施し、計 1,243 名が受診しました。このプログラムは外務省の助成を受けており、2 年目の予算案を 5 月 31 日に提出しました。6 月は引き続きこの 2 郡の病院や工場で検診を実施します。

[http://www.ph-japan.org/program/Thailand/support\\_woman\\_disease\\_prevention.html](http://www.ph-japan.org/program/Thailand/support_woman_disease_prevention.html)

\*\*\*\*\*

### 3. PHJ インドネシア事務所のニュース

#### 3-1. 保健改善、母子健康改善活動 — テイルタヤサ自治区

5月の保健改善プロモーションは4つの村で「結核と下痢」のテーマで行い、158名が参加しました。母親にとり新生児・幼児の「下痢」は病気か判断に迷う場合が多いので、心配な場合は病院で受診するよう勧めています。結核に関しては、通気性が悪い住居と深い関係があるので、子供だけでなく、大人でも咳が長く続く場合には医師の検診を受けるよう指導しました。

母子健康改善活動では「母乳栄養」と「授乳期に気をつけること」をテーマに教育を行いました。インドネシアでは、出産後6か月までの間「母乳栄養」が推進されているものの昔からの言い伝えがあって母乳栄養の徹底は難しい状況です。多くの女性から「出産後の数日間母乳が出ない」との質問に助産師は「妊娠初期からのケアで改善する」と指導していました。テーマがデリケートな問題なので、通常の開放的な場所では指導が難しいことが分かりました。218名の妊婦を含み338名が参加しました。

[http://www.ph-japan.org/program/Indonesia/PRG\\_Community.html](http://www.ph-japan.org/program/Indonesia/PRG_Community.html)

#### 3-2. 栄養改善活動 — トウンダ島

天候が不安定なため延期されていたトウンダ島での栄養教育・調理実習は5月に再開しました。遅れている活動を取り戻すため、2回の活動を実施しました。1回目はインドネシア政府の重点項目である献血リストの作成ステップとして、妊婦を含む100人の血液検査を実施しました。2回目は「幼児の健康・栄養」「妊娠期の体操」を教育・指導し、妊婦のヘモグロビン検査を行った。50%の妊婦が「貧血・鉄分不足」という検査結果を得ました。14才の若年妊婦や43才の高齢妊婦がいることが判明し、今後の結果を順調に見守る必要があります。

#### 3-3. 助産師のチームワーク

4月から助産師不在のケポン村で、出産前に出血した妊婦が診療所に搬送されました。PHJ傘下のほかの村の5人の助産師が診療所に駆けつけ、無事に出産を介助しました。母子ともに元気です。助産師のチームワークに感謝しています。

\*\*\*\*\*

### 4. PHJ カンボジア事務所のニュース

#### 4-1. 保健センター運営向上、村とのネットワーク向上 - コンボントム州

昨年12月で終了した3年間の事業の評価を共有するセミナーを5月10日に開催しました。州保健局、行政自治区、保健センター、村のヘルスボランティア、日本大使館の担当者、PHJ 東京のカンボジア担当が出席しました。次期の事業について外務省の助成多対象となるよう申請書一式は5月6日に提出しました。

<http://www.ph-japan.org/program/Cambodia/babyhealth.html>

#### 4-2. 母子保健、助産師トレーニング - プレイベン州

4月に終了した州病院での4週間のトレーニング(2名)のフォローアップを5月に保健センターで実施しました。6月には次年度の活動の候補地を調査のため訪問する予定です。

<http://www.ph-japan.org/program/Cambodia/midwife.html>

#### 4-3. 「安全なお産」、あと170人分の支援を

2010年春から始まった「安全なお産」支援募金。みなさまからの支援により保健センターでの妊婦健診・分娩奨励キットを4つの保健センターに配布。4月までに累計で妊婦検診キット500、分娩奨励キット500を妊産婦に贈ることができました。しかし実際には妊婦健診・分娩奨励キット170セット分(170人分)の支援が足りません。引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

[http://www.ph-japan.org/supportPHJ/personal/kikaku.html#jirei\\_02](http://www.ph-japan.org/supportPHJ/personal/kikaku.html#jirei_02)

\*\*\*\*\*

---

■ クリック募金にご協力ください！

#### イーココロ！クリック募金

ピープルズ・ホープ・ジャパンは募金サイト「イーココロ！「クリックから世界が変わる、毎日無料でできるいいこと」に参加しています。<http://www.ekokoro.jp/ngo/195/>

---

PHJ メールニュース 2011年6月号を最後まで読んでいただきありがとうございます。  
このメールニュースへのご意見、ご要望は [info@ph-japan.org](mailto:info@ph-japan.org) までお送りください。  
次号の参考にさせていただきます。

メールニュースのバックナンバーはPHJ ホームページでご覧になれます。

<http://www.ph-japan.org/about/mailnews/index.html>

またこのメールニュースの配信を希望されない方は [info@ph-japan.org](mailto:info@ph-japan.org) までメール

ニュース配信不要とご連絡ください。

\*\*\*\*\*

発行者：

認定NPO法人

ピープルズ・ホープ・ジャパン

代表 木村 敏雄

広報 矢崎 祐子、南部 道子

〒180-8750

東京都武蔵野市中町 2-9-32

Tel:0422-52-5507 Fax:0422-52-7035

e-mail: info@ph-japan.org

URL: <http://www.ph-japan.org>

Copyright: 2011 ピープルズ・ホープ・ジャパン

\*\*\*\*\*